

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	止血凝固検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	1校舎 801 802
担当教員	鳩宿 敏彦	実務経験とその関連資格	星ヶ丘医療センターに25年、ファルコバイオシステムズ総合研究所に13年勤務 関連資格:臨床検査技師、二級臨床検査士(血液学)、認定血液検査技師、 認定骨髄検査技師、臨床工学士			
《授業科目における学習内容》						
止血についての基本的な知識を身につけ生体内での凝固・線溶についての基本的な知識を身につける。凝固・線溶に関する疾患について学び、検査データから病名・病態を導き出せる応用力を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキスト:血液検査学 その他:作成スライド資料						
《授業外における学習方法》						
医師薬出版社の教科書では止血検査学の記述が不十分ですので、配布資料など参考資料を活用して勉強してください。						
《履修に当たっての留意点》						
止血検査はローマ数字や記号など馴染み難いですが、出血・血栓を起こす疾患を学ぶためには必須になります。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	血小板の機能を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
	講義形式	各コマにおける授業予定	1次止血と血小板機能			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	血小板の機能を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
	講義形式	各コマにおける授業予定	1次止血と血小板機能(過去問)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	凝固カスケードを説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
	講義形式	各コマにおける授業予定	2次止血と凝固カスケード			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	凝固カスケードを説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
	講義形式	各コマにおける授業予定	2次止血と凝固カスケード(過去問)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	凝固と制御機構の関係を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
	講義形式	各コマにおける授業予定	血液凝固の制御機構			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	凝固と制御機構の関係を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	血液凝固の制御機構(過去問)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	線溶についての基礎を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	繊維素溶解(線溶)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	線溶についての基礎を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	繊維素溶解(線溶)(過去問)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次止血の検査を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	出血時間 血小板凝集能		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次止血の検査を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	出血時間 血小板凝集能(過去問)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	分子マーカーと疾患の関係を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	分子マーカー		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	分子マーカーと疾患の関係を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	分子マーカー(過去問)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	内因系検査の基礎を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	2次止血 血液凝固時間 Ca再加試験		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	内因系検査の基礎を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	2次止血 血液凝固時間 Ca再加試験(過去問)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	プロトロンビン時間の手技を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	プロトロンビン時間		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	止血凝固検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	1校舎 801 802
担当教員	鳩宿 敏彦	実務経験とその関連資格	星ヶ丘医療センターに25年、ファルコバイオシステムズ総合研究所に13年勤務 関連資格:臨床検査技師、二級臨床検査士(血液学)、認定血液検査技師、 認定骨髓検査技師、臨床工学士			
《授業科目における学習内容》						
止血についての基本的な知識を身につけ生体内での凝固・線溶についての基本的な知識を身につける。凝固・線溶に関する疾患について学び、検査データから病名・病態を導き出せる応用力を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキスト:血液検査学 その他:作成スライド資料						
《授業外における学習方法》						
医師薬出版社の教科書では止血検査学の記述が不十分ですので、配布資料など参考資料を活用して勉強してください。						
《履修に当たっての留意点》						
止血検査はローマ数字や記号など馴染み難いですが、出血・血栓を起こす疾患を学ぶためには必須になります。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	プロトロンビン時間の手技を説明できる		血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
	各コマにおける授業予定	プロトロンビン時間(過去問)				
第17回	授業を通じての到達目標	APTTの手技を説明できる		血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
	各コマにおける授業予定	活性化部分トロンボプラスチン時間				
第18回	授業を通じての到達目標	APTTの手技を説明できる		血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
	各コマにおける授業予定	活性化部分トロンボプラスチン時間(過去問)				
第19回	授業を通じての到達目標	一次止血の疾患を説明できる		血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
	各コマにおける授業予定	フォンヴィレブランド病 バルナールスーリエ症候群 血小板無力症 ストレージプール病				
第20回	授業を通じての到達目標	一次止血の疾患を説明できる		血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
	各コマにおける授業予定	応用問題				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第22回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第23回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第24回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第25回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第26回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第27回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第28回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第29回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第30回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				